



IAUD Newsletter vol.11 第 11 号(2019 年 2 月号)

- 1. 「第 7 回国際 UD 会議 2019 in バンコク」プログラムのご紹介..... 1
- 2. 「第 7 回国際 UD 会議 2019 in バンコク」開催のご挨拶..... 9
- 3. IAUD 2 月の予定.....11



初の海外開催！国際会議いよいよ開幕

「第 7 回国際 UD 会議 2019 in バンコク」プログラムのご紹介

IAUD は「第 7 回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2019 in バンコク」を 3 月 4 日(月)から 6 日(水)の 3 日間、タイの首都バンコクにあるモンクット王工科大学ラートクラバン校 (KMITL) で開催します。

初の海外開催となる今回は、テーマを国連が 2030 年までの達成目標としている「持続可能な開発目標 (SDGs)」に呼応して「UD による持続可能な発展」としました。

SDGs が掲げる 17 課題のうち、半数以上が UD で解決するといわれています。タイで国際会議を開催することで、SDGs の目標達成に向けて UD が貢献できることを、タイをはじめとする ASEAN (東南アジア諸国連合)、そして世界へ発信することを狙いとしています。

また、サブテーマは「産業振興、地域振興、高齢社会、観光と UD」。世界各国からの専門家によるセッションや論文発表を通じて、UD の技術・知識移転、相互人材交流を即すことにより、ASEAN における質の高い UD 社会を目指します。

さらに、多くの方に UD を理解していただくために、一般の方々にも親しみやすい内容での UD 公開ワークショップや展示会も無料で実施します。

今号の Newsletter では、会期 3 日間のプログラム概要をご紹介します。



国際会議開催告知ポスター

充実した情報保障

タイでの開催となるため、会議は英語、日本語、タイ語で行われます。

情報保障として、すべてのセッションに英語、日本語、タイ語の同時通訳と字幕通訳、日本語とタイ語の手話通訳を用意します。

また、今回は音の UD 化支援システム「SoundUD」を搭載したスマホ向けアプリケーション「おもてなしガイドアプリ」※を活用した字幕配信サービスにも対応します。会議の内容を 13 言語に翻訳してリアルタイムにご提供します。

※「IAUD アワード 2016 金賞」受賞した「おもてなしガイドアプリ」詳細はこちらをご覧ください。

<https://www.iaud.net/newsletter/8696/>



「第7回国際 UD 会議 2019 in バンコク」プログラム概要

3月4日(月曜日)のスケジュール

初日にはモンクット王工科大学ラートクラバン校コンベンションホール内メインホールにおいて、開会式や公開シンポジウムが開催されます。

また、展示ホールではより多くの方に UD を理解していただくための展示会、夜には歓迎レセプションも行います。※開会式、公開シンポジウム、歓迎レセプションへの参加は事前登録が必要です。



会場となるモンクット王工科大学
ラートクラバン校コンベンションホール

■10時～11時 開会式

開会式には来賓として安倍晋三内閣総理大臣よりビデオメッセージでのご挨拶があります。

また、佐渡島志郎在タイ日本国大使やタイ政府関係者、モンクット王工科大学学長からもご挨拶をしていただきます。

開会式と公開シンポジウムの総合司会は、メロディーと歌詞を入力すると歌声をつくるヤマハの技術「VOCALOID」の男性3人組ユニット「ZOLA Project」のリーダーである KYO が務めます。(声優:宮崎 湧)

※総合司会 KYO からのメッセージはこちらをご覧ください。

<https://youtu.be/p73aA7WLD0A>



総合司会の KYO

■12時30分～16時 公開シンポジウム

世界各国で UD を推進する専門家をお迎えしての基調講演とパネルディスカッションを行います。公開シンポジウムは、事前登録していただければどなたでも入場無料でご覧いただけます。

◆基調講演 1:UD による持続可能な発展

ロジャー・コールマン(王立芸術大学院名誉教授:英国)

王立芸術大学院ヘレンハムリンセンターを設立し、高齢化社会に対応する新しいデザインを政府や企業に提言しているコールマン氏をお迎えし、今回の会議のテーマである「UD による持続可能な発展」についてお話ししていただきます。



◆基調講演 2:災害をはね返す社会のカーひとの力からインフラの力までー

山中 燐子(国際津波防災学会代表)

東アジア・アセアン経済研究センター総長特別顧問)

平和構築の人材育成や人間の安全保障、人為的及び自然災害の予防や被害軽減に取り組んでいる山中氏をお迎えし、世界災害の約40%がアジアで発生している現状を踏まえ、非常時、緊急時の対応をUDの視点からお話ししていただきます。



◆パネルディスカッション:UD による地域開発

世界各国から UD の有識者 5 名をお迎えし、都市のインフラ基盤及び都市生活におけるアクセシビリティ整備のほか、火事や停電等の事故に対する非常時・緊急時の対応を UD の視点から再点検します。



ヴァレリー・フレッチャー(人間中心デザイン研究所所長:米国)
フランセスク・アラガイ(デザインフォーオール財団代表:スペイン)
ラーマ・ギーラオ(王立芸術大学院ヘレンハムリンセンター所長:英国)
アンティカ・サワスリ(モンクット王工科大学建築学部長:タイ)
トーマス・バーデ(IUD ユニヴァーサルデザイン研究所所長:ドイツ)
司会進行:山中 敏正(筑波大学教授/IAUD 評議員:日本)

■16 時 20 分～18 時 IAUD 国際デザイン賞 2018 プレゼンテーション／表彰式



「IAUD 国際デザイン賞 2018」は持続可能な共生社会の実現に向けた革新的な UD 活動や提案を広く国内外に求め、厳正な審査により優秀作を表彰するものです。

当日は国内外からエントリーされた 22 点の中から、審査委員会より「大賞」「金賞」「銀賞」「IAUD 国際デザイン賞」を発表し、各受賞者に賞状を授与します。

また、大賞と金賞受賞者によるプレゼンテーションが行われます。

IAUD 国際デザイン賞 2018 プレゼンテーション／表彰式は、事前登録していただければどなたでも入場無料でご覧いただけます。

■18 時 30 分～20 時 歓迎レセプション

コンベンションホール・ホワイエにて、ご来賓や登録参加者、主催関係者を対象としたレセプションを行います。

来賓のタイ政府関係者やの JETRO バンコク事務所の三又裕生所長よりご挨拶をしていただきます。

■12 時～20 時 展示会

展示会が 3 日間にわたり展示ホールで行われます。IAUD 研究部会の活動を紹介したパネル展示や、過去 2 年間の IAUD 国際デザイン賞受賞作品を投影展示します。

より多くの方に UD を理解していただくため、展示会は事前登録不要・入場無料にてどなたでもご自由にご覧いただけます。

3月5日(火曜日)のスケジュール

2日目はメインホールにおいて、今回の会議サブテーマのうち、「高齢化社会のUD」「産業振興のUD」「地域振興のUD」について、国内外から専門家をお迎えし5つのセッションを実施します。

また、セミナールームでは論文発表セッションを、展示ホールでは市民にも親しみやすいテーマでのUD公開ワークショップを開催します。このワークショップは一般市民や学生など誰でも無料でご参加いただけます。

■9時40分～10時20分 セッション1 高齢社会におけるUD1 基調講演: 高齢化とSDGs、アジア健康構想

駒澤 大佐(ERIA 東アジア・アセアン経済研究センター総長特別顧問)
司会: 久保 雅義(大阪芸術大学特任教授/IAUD 理事: 日本)



■10時40分～12時00分 セッション2: 産業振興におけるUD 1 「パネルディスカッション: イノベーションとUD」



オンニ・エイクハウグ(EIDD デザインフォーオール・ヨーロッパ会長: ノルウェー)
ウィア・クロリウス(人間中心デザイン研究所ユーザー・エキスパートラボ部長: 米国)
ラーマ・ギーラオ(王立芸術大学院ヘレンハムリンセンター所長: 英国)
司会進行: アンティカ・サワスリ(モンクット王工科大学建築学部長: タイ)

■13時～14時20分 セッション3: 産業振興におけるUD 2 「パネルディスカッション: ユーザーフレンドリーデザイン&サービス」



トーマス・バーデ(IUD ユニヴァーサルデザイン研究所所長: ドイツ)
中尾 洋子(パナソニック株式会社デザイン戦略室先行開発課課長: 日本)
大山 繁樹(日経BP社シニアエディター: 日本)
司会進行: 森 秀男(IAUD 衣のUDPJ 主査: 日本)

■14時40分～16時 セッション4:地域振興におけるUD 1
「パネルディスカッション:持続可能なUD社会」



是澤 優(国際連合人間居住計画アジア太平洋事務所長:日本)
サワン・スリソム(チュラロンコン大学:タイ)
岩瀬 大地(東京造形大学准教授:日本)
司会進行:益田 文和(株式会社オープンハウス代表:日本)

■16時20分～17時40分 セッション5:地域振興におけるUD 2
「パネルディスカッション:建築・デザイン系大学の教育的役割」



アンティカ・サワスリ(GDAST タイ建築学部長協議会会長:タイ)
リティロン・チュタプルティコルン(バンコク大学建築学部長:タイ)
ヴァレリー・フレッチャー(人間中心デザイン研究所所長:米国)
司会進行:ジェームス・ハリソン(コーク大学建築教育センター:アイルランド)

■9時40分～12時 UD 公開ワークショップ 1-プロダクトデザイン-
「多様なユーザーと取り組む、製品の UD-」

一般市民や学生など誰でも無料でご参加いただける※UD 公開ワークショップです。

プロダクトデザインをテーマに、「誰一人も取り残さない」の切り口から、ユーザー参加型の実用的な製品設計ワークショップを行います。

リーダー: 荒井 利春(金沢美術工芸大学名誉教授: 日本)



■13時～15時30分 UD 公開ワークショップ 2-実践的研究-
「UDを理解するための使用者と専門家による現実に即した調査研究」

実践的研究をテーマに、プロセスの価値を理解するユーザー参加型のワークショップを行います。

リーダー: ヴァレリー・フレッチャー(人間中心デザイン研究所所長: 米国)



※UD 公開ワークショップにはどなたでも無料で参加可能です。参加希望者はワークショップ開始 10 分前まで総合受付にお越しの上、お申込みください。

協力団体のモンクット王工科大学、タマサート大学、チュラロンコン大学、バンコク大学、CMKL 大学およびタイ建築学部協議会に所属する教員及び学生に限り、このワークショップに参加すれば、無料で本会議の傍聴も可能です。

■10時40分～17時40分 論文発表セッション

国内外から応募のあった 40 の論文の中から厳正な審査を通過した論文を 5 日と 6 日の 2 日間、テーマごとに 5 のセッションに分けて発表します。

5 日は「都市」「建築」「住宅」「人間工学」が対象です。

■8時30分～18時30分 展示会

■10時～18時30分 ポスターセッション 1 展示ホール

国内外から応募のあった論文の中から、ポスター発表に適したものが掲示されます。論文発表セッションと内容がぶつからない時間帯に、発表者がポスターの脇に質疑応答のために待機します。

3月6日(水曜日)のスケジュール

会議最終日には国内外から専門家をお迎えし、メインホールにて今回の会議のサブテーマ「観光のUD」「高齢化社会のUD」についてのセッションや、3日間にわたる会議全体を総括するプログラムが開催されます。

また、閉会式では「優秀論文表彰」と「国際UD宣言2019」が発表されます。

セミナールームでは論文発表セッション「人間工学」を行い、展示ホールでは2つのUD公開ワークショップを実施します。

■9時40分～10時20分 セッション6:観光のUD1

基調講演:タイのインクルーシヴ・ツーリズム



トリラット・ジャルタック(チュラロンコン大学 UD センター所長:タイ)

司会:アンティカ・サワスリ(モンクット王工科大学建築学部長:タイ)

■10時40分～12時 セッション7:観光のUD2

「パネルディスカッション:観光のUD」



フランセスク・アラガイ(デザインフォーオール財団代表:スペイン)

宮崎 湧(ZOLA Project 声優/Vocaloid):日本)

瀬戸 優樹(SoundUD 推進コンソーシアム事務局長:日本)

荒井 利春(金沢美術工芸大学名誉教授:日本)

司会進行:松森 果林(余暇のUDPJ 主査/IAUD 理事:日本)

■13時～14時20分 セッション8: 高齢化社会におけるUD2

「パネルディスカッション: 高齢社会におけるUD-バリアフリーデザインとUD-」



秋山 愛子(国連 ESCAP アジア太平洋経済社会委員会: 日本)

ジェームス・ハリソン(コーク大学建築教育センター: アイルランド)

サオワラック・ソクアイ(障害者インターナショナルアジア太平洋協議会: タイ)

チョムケット・サワンチャレウン(タマサート大学 UD センター: タイ)

司会進行: 古瀬 敏(静岡文化芸術大学名誉教授/IAUD 理事長: 日本)

■14時40分～16時20分 セッション9: クロージングセッション

「パネルディスカッション: UD による持続可能な発展」

国際会議の全てのプログラムの総括として、今回の会議テーマ「UD による持続可能な発展」について意見や感想を伺うとともに、会議内容に関する到達点や今後のUD活動の方向性を議論します。



ロジャー・コールマン(王立芸術大学院名誉教授/IAUD 評議員: 英国)

ヴァレリー・フレッチャー(人間中心デザイン研究所所長/IAUD 評議員: 米国)

フランセスク・アラガイ(デザインフォーオール財団代表/IAUD 評議員: スペイン)

高橋 陽子(日本フィランソロピー協会理事長/IAUD 評議員: 日本)

古瀬 敏(静岡文化芸術大学名誉教授/IAUD 理事長: 日本)

司会進行: 川原 啓嗣(名古屋学芸大学大学院教授/IAUD 専務理事: 日本)

■16時40分～17時40分 閉会式

全論文の中から選考される「優秀論文表彰」の発表があります。また、「国際UD宣言2019」が発表され、閉会となります。

■10時～11時30分 UD 公開ワークショップ 3-サステナブルデザイン-
「サステナブルな社会のために UD が出来ること」

国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」達成に向けて、UD が貢献できる
ことと矛盾ないしは調整すべきことについて検証します。

リーダー: 益田 文和(株式会社オープンハウス代表: 日本)



■13時～14時30分 UD 公開ワークショップ 4-サステナブルツーリズム-
「サステナブルツーリズムのための UD」

UD の視点でツーリズムの課題を発見し、共有するワークショップを行います。

リーダー: 岩瀬 大地(東京造形大学准教授: 日本)



■10時40分～12時 論文発表セッション

6日はテーマ「人間工学」が対象です。

■8時30分～18時30分 展示会 展示ホール

■8時30分～12時00分 ポスターセッション 2 展示ホール

※プログラム内容や日時等は変更する場合がありますので予めご了承ください。

※最新情報は「第7回国際 UD 会議 2019 in バンコク」公式サイトをご覧ください。

<https://www.ud2019.net>



バンコクから世界へ UD の取り組みを発信

「第7回国際 UD 会議 2019 in バンコク」開催のご挨拶

組織委員会会長 古賀 尚文
(共同ピーアール株式会社取締役会長)



第7回目となる国際 UD 会議を、タイ王国首都バンコクにて開催
できますことを大変嬉しく思います。

IAUD は 2003 年の設立以来、企業や個人会員の皆様、関係省
庁や団体のご支援のもと、国際会議を重ねながら日本における
UD の発展に貢献して参りました。

前々回の東京・福島そして前回の名古屋の会議では安倍晋三
内閣総理大臣よりビデオメッセージを賜り、UD の導入により
2020 年東京オリンピック・パラリンピックを「世界中のあらゆる
人々に、日本は暮らしやすい国だと思っただけのような大会
にしたい」と UD の普及に強い決意を示していただきました。

今回の会議では、「UDによる持続可能な発展」とのテーマを掲げ、タイ、日本、そして世界からの多くの参加者を迎え、活発な意見交換と相互交流を通して持続的かつ自発的な行動を促しながら、より質の高いUD社会の実現を目指します。

また、メインテーマに加え、次の4つのサブテーマを軸に参加者の皆様と熱い議論を通じて深い交流ができることを期待しています。

1. 産業振興におけるUD
2. 地域振興におけるUD
3. 高齢社会におけるUD
4. 観光のUD

2030年までに達成すべく掲げられた「持続可能な開発目標」に向けて、バンコクから世界へ発信するUDの取り組みが地球環境と人類の未来に大いに貢献することと信じます。

最後に本国際会議の開催に向けてご尽力いただいた多くの関係者の皆様方の多大なるご協力、ご支援に心より感謝申し上げます。

実行委員会委員長 古瀬 敏

(IAUD 理事長／静岡文化芸術大学名誉教授／国立研究開発法人建築研究所客員研究員)



横浜で2002年に第1回の国際会議を開催して以来、IAUDは国際的な場で活動することを目指してきました。名称に「国際」が含まれているのはその故です。16年を経て、第7回の国際会議はASEAN諸国の中心であるタイ王国のバンコクで開催の運びとなりました。

かつてWHOは次のように警告しました。「先進国は豊かになってから高齢化するが、途上国は豊かになる前に高齢化する」。このことを念頭に置き、国連のアジア太平洋経済社会理事会はアジア太平洋障害者の10年を進めるに当たって、バリアフリーをUDの軸として進めようとしてきました。バリアだらけの環境をつくって、何年も経ってから直そうと思っても無理だからです。

世界中どこでも、そうしたバリアだらけの建築物、交通機関、製品、そしてサービスを目にします。どんなに努力してそれらを良くしようと思っても、望ましい水準にはなりません。改善しても移動時間と費用はよけいにかかり、しかも十分な満足は得られません。あとから修正しようとするのはあらかじめいいものをつくるのに比べて価格が高くなってしまいますが、それを避けるのにすでに知られている知恵を再び発明する必要はありません。すでに優れたUDの事例があり、それから学べるのです。

IAUDの国際会議はそういった点を他者から学べる機会の好例であり、今回はこの地域で肝要な点を議論できるように組み立てました。参加者がそうした好例を学んで各自の持ち場で応用されることを期待しています。

なお、この会議はモンクット王工科大学ラートクラバン校(KMITL)の大々的な協力を得ました。また、東アジア・アセアン経済研究センター(ERIA)から多額の資金援助をいただきましたことに特に感謝いたします。

2019年2月の予定

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5 16:00～ 組織委員会 @セルリアンタ ワー 東急ホテル	6	7	8	9	10
11 建国記念日	12	13	14	15 13:30～ 余暇の UDPJ @IAUD サロン	16	17
18	19	20 14:30～ 研究部会 @富士通デザイ ン Hab-Yu	21 13:00～ 衣の UDPJ @産業技術研究 センター 14:00～ 国際会議記者発 表会@モンクッ ト王工科大学ラ トクラバン校	22	23	24
25	26	27 13:30～ 標準化研究 WG @IAUD サロン	28			

次号は3月中旬発行予定

特集:「第7回国際UD会議 2019 in バンコク」開催報告ほか

IAUD 情報交流センター(IAUD サロン):

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-25-9 トヨタ八丁堀ビル 4 階

電話:03-5541-5846 FAX:03-5541-5847 e-mail:info@iaud.net